

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German							
担当 教官名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	金曜日 金曜日	2校時 2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>前期は、文法の基礎を確認する意味で、15章からなる短文集を読み、また練習問題ととりくむ。後期は、バルト3国のひとつ、エストニアの海岸を舞台にしたヴェルナー・ベルゲングリュンの短編「海の悪魔」(1935年)を読んでゆく。前者は平易なドイツ語で書かれたものばかりなので、結果として多くのドイツ語文を読むことになり、多読の楽しさを味わうことができる。後者はドイツ語自体は少しむずかしくところもあるが、奇談の趣もあり、興味深く読むことができるだろう。どちらも、テキストに付いている詳しい説明を参照するなら、自分で辞書をひきながらどんどん読んでゆくことができる。</p> <p>教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。</p> <p>作文練習の外、テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。</p>								
テキスト、教材等								
テキストは2冊使用する。			『ドイツ語ユーモア小品集(中級読本)』			菊池悦朗 編 第三書房		
			『改訂新版 海の悪魔』			丸山 匠 他編 行人社		
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
2P18	定期試験(約90%)および平素の学習成績、授業への参加状況等(約10%)を考慮して評価する。							
授業計画								
<p>のテキストは一回の授業で1~2課進む。前もって4・5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。の方は、一回に1頁~1頁半ずつ進む。折にふれていくつかの文法事項に焦点をあてる。</p> <p>文法や単語に関連した練習問題、作文などを途中で差し挟んで、テキストの理解を深めるようにする。</p>								
前期								
第一回~第五回		1~6 課 前置詞、分離動詞など						
第六回~第十回		7~11 課 再帰動詞、接続法第二式など						
第十一回~第十五回		12~15 課 受動態、接続法第一式など						
後期								
第一回~第五回		『海の悪魔』1~8頁 代名詞の特殊用法など						
第六回~第十回		9~16頁 関係代名詞など						
十一回~第十五回		17頁~ 話法の助動詞など						